

アセットマネジメント事業 ASSET MANAGEMENT



運営ファンドの資金回収フェーズが進む ベンチャーキャピタル事業が好業績に寄与

アセットマネジメント事業を取り巻く事業環境

新型コロナウイルス感染症拡大を背景に世界の株式相場の強弱感が対立する中、リモート環境の整備やDX推進の機運もあり、先端技術の育成が更に注目されています。SBIグループは、今後の成長が期待できる東南アジアと欧州等で金融子会社や海外有力パートナーとの共同ファンドを設立し、カントリーリスク等のリスク分散を図りつつ、海外事業の拡大を図っています。

主要企業

SBIインベストメント	SBI貯蓄銀行
SBI FinTech Incubation	SBI Investment KOREA
SBI VEN CAPITAL	SBI Royal Securities
SBI Hong Kong Holdings	SBI Thai Online Securities
思佰益(中国)投資	SBI Bank
SBI & TH (Beijing) Venture Capital Management	PT BNI SEKURITAS
SBI Ventures Malaysia	SBI LY HOUR BANK
SBIグローバルアセットマネジメント モーニングスター	SBI債券・インベストメント・マネジメント
SBIアセットマネジメント	SBI地方創生アセットマネジメント
Carret Asset Management	SBI地銀ホールディングス
	SBIエステートファイナンス

2021年3月期の主な取組み・重点戦略

▶ ベンチャーキャピタル事業

- 主要ファンドからの投資先企業のIPOが続々と出始め好業績に寄与。2021年3月期はIPOが19社、M&Aは3社が実現。かっこ(株)、(株)ココペリ、(株)Kaizen Platform、ウェルスナビ(株)などのフィンテックやAI関連企業が大きく成長
- 「Society 5.0 for SDGs」の実現に寄与する5GやIoT、ビッグデータ等を主な投資対象とした「SBI 4+5ファンド」(正式名称：SBI 4&5投資事業有限責任組合、SBI 4&5投資事業有限責任組合2号の総称)を国内最大級*である1,000億円規模で2021年4月より本格的に運用開始
- 2016年から運営を開始したCVC(コーポレートベンチャーキャピタル)ファンドは着実に出資約束金額を積み上げ、累計出資約束金額は1,000億円規模に到達

※ 2021年4月時点、当社調べ

▶ 海外金融サービス事業

- 韓国のSBI貯蓄銀行は、優良資産拡大とともに基礎的収支も順調に拡大したことで過去最高益を更新し、アセットマネジメント事業の安定利益源として大きく貢献
- 2017年8月に完全子会社化したロシアのSBI Bank、タイ王国初のインターネット専業証券会社であるSBI Thai Online Securities、カンボジアのSBI LY HOUR BANK等の海外金融子会社においても2021年3月期に黒字化を達成する等好業績に寄与

▶ 資産運用サービス事業

- 世界最大級の債券運用会社米国PIMCO社と合併で設立したSBI債券・インベストメント・マネジメントおよび地域金融機関39行が共同出資するSBI地方創生アセットマネジメントにおける地域金融機関等からの運用資産残高は2021年7月時点で2兆円を突破
- SBIアセットマネジメント・グループの私募投信の年間純資産流入額(2020年4月～2021年3月末)は1.1兆円に達し、全運用会社89社中の第4位に
- 世界最大級の投信運用会社である米国バンガード社と共同で設立したファンド「SBI・V・S&P500インデックス・ファンド*」は2021年7月6日時点で純資産残高2,500億円を突破

※ 2021年6月15日付で「SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド」から名称変更

2021年3月期における 連結税引前利益の事業分野別内訳(IFRS)

